

令和4年度西区実施プラン 期末報告

令和5年（2023年）3月 札幌市西区

西区では、毎年度「西区実施プラン」を策定し、区の使命と区運営の目標・基本方針を定め、それに沿って計画した各重点取組項目について、検証しながら進めてきました。

その結果、令和4年度の実施結果の概要は、次のとおりとなりましたのでご報告いたします。

令和5年度以降も、区民の皆様と連携しながら、区民が主役のまちづくりを進めてまいります。

令和5年（2023年）3月31日

西区長 坪田 靖

I 西区実施プランの全体

◇ 西区の使命

区民誰もが健康で安心して生き生きと暮らすことができるように、地域の主体的なまちづくり活動を支援し、区民の皆さまとともに新型コロナウイルス感染症拡大防止のための取組を継続しながら、西区のまちづくりを進めてまいります。

◇ 西区の運営方針

西区は、札幌市まちづくり戦略ビジョンに基づく防災・環境・文化芸術の各事業を中心に行うとともに、次の3つの方針でまちづくりや区役所の運営を進めます。

- ◆ 誰もが安全・安心に暮らせるまちづくり
- ◆ 地域の豊かな自然環境や文化芸術を生かしたまちづくり
- ◆ 市民感覚を大切にしながら地域とともに進めるまちづくり

- ・ 各部の目標
- ・ 運営方針実現のための取組

Ⅱ 運営方針実現のための取組

1 誰もが安全・安心に暮らせるまちづくり

(1)地域の防災力強化

小中学校などの指定避難所(基幹)において、区職員、学校職員及び地域住民の3者で実際に避難所の設営などを体験する訓練や研修を行い、昨年度と合わせた2年間で区内の全ての指定避難所(基幹)で訓練や研修を実施しました。

また、地域で自主防災活動に取り組む方に対して、防災資機材の取扱や応急手当を学ぶことができる防災実技研修を行いました。

さらに、町内会等が行う自主的な防災研修会や訓練等の開催支援として、町内会に対する防災講話や小学校に対する防災教室等を行いました。

〈数値目標〉

避難所開設訓練・研修の参加者数	320人	→	実績	283人
防災実技研修の参加者数	120人	→	実績	121人



【避難所開設訓練の様子】

(2)介護予防体操の普及

住民とともに制作した介護予防体操「エコロコ!やまべエ誰でも体操」の10周年を記念して、体操動画をリニューアルし、高齢者のみならずあらゆる世代の区民や関係機関等に広く体操を周知しました。さらに厚生労働省のご当地体操紹介ホームページ『通いの場』に投稿したところ、月間再生回数ランキングで令和4年8月から令和5年2月まで全国1位を7か月連続して獲得しています(現在も記録更新中!)

普及員養成講座を開催し、地域で高齢者の介護予防を関係機関とともに普及推進する普及員を養成しました。

また、普及員が地域で活躍できる場として地域イベント等で体操を披露する他、リニューアル動画の制作や10周年記念セレモニーを兼ねた普及員活動研修会を通して、普及員同士の交流の機会や普及活動の活性化につながる機会となりました。

〈数値目標〉 普及員数 450人(37人増) ⇒ 実績 476人(63人増)



西野児童会館とすこやか倶楽部(西野地区)

【リニューアル区民編の一場面】



【普及員活動研修会の様子】

(3)地域との協働による健康づくり

健康寿命の延伸を目指し、地域における健康づくり活動の活性化を図るため、健康づくりに取り組む団体・グループの活動支援や、健康教育講座の開催、地域主催の健康講座への協力など、誰もが参加できる健康づくり事業を協働で行っており、令和4年度は「市民健康教育講座」を5回実施したほか、『健康さっぽろ 21 の推進に関する包括的連携協定』締結企業との連携により「フレイル(※) 予防講座」を1回実施しました。また、健康づくり活動がより多くの区民に広がるよう、乳幼児健診の場を活用し、がん検診等の啓発を行いました。

(※)「フレイル」とは、健康な状態と介護が必要な状態の中間の状態を指します。早めに気が付き、適切な取組を行うことで、健康な状態に戻ることができます。



【市民健康教育講座の様子】

(4)だれでも・いつでも・なんどでもノルディックウォーキング事業

働く世代を含む幅広い世代の区民が多様なライフスタイルに合わせ、年間を通してノルディックウォーキングを活用した健康づくりに取り組むことができるよう、農試公園と保健センター、西野まちづくりセンターを拠点として、ポールの無料貸し出しを行いました。また、令和4年5月から保健センターと西野まちづくりセンターでの貸出期間を1日から1週間に拡大して、利用しやすい環境を整えました。

このほか、保健センター主催の講習会を4回、農試公園主催の講習会を6回開催しました。

〈数値目標〉

ノルディックウォーキングを実践した人数

(令和元年度から令和4年度の累計) 1,500人/延 ⇒ 実績 1,611人/延(※)

※令和5年3月現在



【ノルディックウォーキング講習会の様子】

(5) 認知症の方や家族への支援

認知症の方がいつまでも住み慣れた地域で生活できるよう、「認知症にやさしいまちづくり」に向けて関係機関と協働し、西区が作成したリーフレットやポスターの配布を行い、認知症の普及啓発を進めました。幅広い世代の方が認知症の理解を深め、早期に気づき、見守りや相談に結びつくよう、新たに商業施設においてパネル展と相談会を行い、認知症について広く知らせる機会となりました。

また、コロナ禍で介護負担感の増加が懸念されることから、介護者が孤立せず悩みを共有できる機会として介護者向けの講演会と交流会等を開催しました。

【商業施設でのパネル展】



【男性介護者のつどい】



(6) 障がい者への支援

社会的に孤立している知的障がい者の方がいないか把握するため、福祉サービスを利用していない方を対象に郵送や訪問により生活状況の調査を実施したほか、対象の方には福祉ガイドを送付し、福祉サービスの周知を行いました。また、民生委員への情報提供を希望する方については、情報提供カードを民生委員に提供し、情報共有を図りました。

障がい者が暮らしやすい地域づくりを目指し、「自立支援協議会西区地域部会」において福祉サービスを提供する事業者間で意見交換会や交流会を複数回実施することにより支援力の向上を図りました。また以前作成した相談窓口に関するポスターを改定し、事業者や関係機関にポスターの掲示への協力をいただき、困りごとのある方へ周知しました。

(7) 安心して子育てできる地域の環境づくり

孤立しがちな転入者が不安なく西区で子育てできるよう「転入者子育て交流会」を7月・8月に計4回対面集合形式で実施しました。

また、子育てに関する情報の提供や相談などを行っている、『こそだてインフォメーション「さんかくやまベエのへや」』を広く周知するために啓発品を作成し、子育て家

庭が日常的に利用する区内外の施設への配架や対面での配布などを行いました。

さらに、支援を必要とする子どもたちが、地域で安心して暮らすことができるよう、子どもの生活に関わる機関や地域とのネットワークを生かしながら連携・協働して見守りを行っています。

(8)誰もが楽しめる公園づくり

身近な公園の全面改修を、地域の方々の声を取り入れながら、4公園で進めました。

また、老朽化した外柵や公園トイレなどの部分改修として3公園、河川沿いにある公園において散策しやすい園路整備を1公園、農試公園では蒸気機関車の塗り替えを行いました。



【全面改修】琴似なかよし公園



【全面改修】西野コスモス公園

(9)安全・安心な道路環境の確保

老朽化が進んでいる道路について、生活道路整備や幹線道路などの舗装改良を36路線で実施しました。

また、冬期間の円滑な交通を確保するため、車道516km、歩道261kmの除雪を実施しました。

さらに、日頃より災害等に備え、迅速な初期対応や復旧活動を行うため、西区災害防止協力会と共同で防災訓練を実施しました。

2 地域の豊かな自然環境や文化芸術を生かしたまちづくり

(1)琴似発寒川の環境保全推進事業

地域住民が主体となって実施する琴似発寒川の環境保全活動の支援をしました。

① 琴似発寒川一斉清掃

連合町内会が主体となり、地域住民の方や地元企業が参加して、春に琴似発寒川及び左股川の河畔約12kmを一斉に清掃する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を考慮し、一部で実施しました。

② やまめの稚魚放流

連合町内会が主体となり、一斉清掃の翌週にやまめの稚魚を琴似発寒川及び左股川の流域6会場で放流する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を考慮し、一部会場で地域の皆様が参加して30,000匹の放流を実施しました。

(2)西区環境まちづくり協議会等支援事業

西区環境まちづくり協議会など地域の人々が主体的に取り組む環境活動を支援

西区の豊かで恵まれた自然環境を次世代に引き継ぐため、「西区環境まちづくり協議会」や区民・団体・企業など、地域の人々が主体的に取り組む環境活動などを支援しました。

① 西区環境まちづくり協議会に対する支援

西区環境まちづくり協議会の運営及び活動の支援を行いました。

<主な活動>

◆「エコキッズ・プログラム」、「親子でエコキッズ・プログラム」、「西区子ども自然学校」

○「エコキッズ・プログラム」では、小学校や幼稚園・保育園を対象として、五天山公園や琴似発寒川などで、昆虫や植物を観察する自然体験教室や川の生き物を観察する水生生物観察会等を実施しました。

・ 26 回開催、延べ 1,243 人参加

○「親子でエコキッズ・プログラム」では、2歳以上の未就園児を持つ親子を対象として、西区の自然を活かした遊びや散策、食事などの活動を通じて、自然とのふれあいを学ぶ機会を提供しました。

・ 2 回開催、延べ 15 組 32 人参加

○「西区子ども自然学校」では、自然の中での活動に興味のある小学4年生を対象に、西区の自然を活かした自然体験活動を行い、身近な自然に親しみ、楽しみながら環境について学ぶ機会を提供しました。

・ 3 回開催、延べ 29 組 63 人参加

◆「親子で環境満喫バスツアー」

石狩市古潭海岸を訪問し、海岸漂着物や自然物に目を向け、身近な自然環境や海洋プラスチックゴミ問題について親子で学ぶバスツアーを開催しました。

・ 2 回開催、親子 18 組 36 人参加

◆「西区こども環境広場」

札幌市生涯学習総合センターちえりあにて、様々な体験やゲームを通じて楽しみながら環境について学ぶ体験型イベント「西区こども環境広場」を、西区区制 50 周年記念事業として開催しました。西区環境まちづくり協議会の構成団体や区内の企業がブースを出展したほか、ステージイベントでは「子ども環境活動発表会」や



【エコキッズ・プログラムの様子】



【バスツアーの様子】



【子ども環境活動発表会の様子】

「西区 SDGs フォトコンテスト表彰式（小学生以下の部）」、「エコマジックショー」などを実施しました。（9月10日実施、延べ1,970人来場）

② 西区アダプト・プログラム

環境美化に対する市民意識の高揚を図るとともに、市民と行政との協働による環境美化活動を推進するため、企業や学校、商店街などの地域団体と、西区役所が協定を結び、身近な道路や公園といった公共の場所を清掃するなど、継続的にまちの美化活動を行いました。今年度は1団体が新規参加となりました（登録団体数54団体）。

また、10年以上継続して活動している6団体に表彰を行いました。

(3)地域の文化芸術活動の推進

西区には様々な文化関連施設が設置されており、このような本格的な文化芸術に触れることができる環境を生かして、区民の方に対し、上質な文化芸術に触れる機会を創出する事業を実施しました。

① 西区文化フェスタ 2022

「西区文化フェスタ」は、演劇、音楽、日本舞踊、ダンスなど様々なジャンルの公演を約2週間、日替わりで楽しむことができるイベントです。

多種多様な文化芸術に触れる機会、区内・市内を拠点に活動するアーティストらの公演機会をつくることで、区内の文化芸術の振興を図ることを目的に平成5年から実施しています。

令和4年度は、積雪等の影響を受けずに来場してもらえよう、開催時期を2月から9月に変更。さらに、西区区制50周年記念事業として、このイベントを身近に感じてもらうよう、これまでのメイン会場である地下鉄琴似駅直結のイベントホール「ことにパトス」の他、地区センター、商業施設のイベントスペース、JR琴似駅直結の文化施設等でも数多くの公演を実施しました。

期間中、14団体が出演し、15公演を開催、期間合計での来場者数は1,000名を超える結果となりました。

和太鼓演舞、ハンマーダルシマー等の民族楽器コンサートなど普段はお目にかかることのできないものや、西区琴似のご当地アイドルによるライブ、本格的なクラシックコンサートなど幅広いジャンルの音楽をとりそろえました。また、親子で参加する演劇ワークショップ、日本舞踊、マジックショー、朗読劇など、バラエティに富んだラインアップで、区民の皆様は文化芸術の楽しさを味わっていただくイベントを実施しました。



【和太鼓演舞】



【クラシックコンサート】



【マジックショー】

② コトニジャズ・コトニクラシック

市内で活躍する演奏家やプロの音楽家による本格的な演奏を気軽にお楽しみいただく「コトニジャズ・コトニクラシック」。

令和4年9月に、西区区制50周年を記念する「西区区制50周年記念 西区フェスティバル」を、札幌市生涯学習総合センターちえりあにて開催しました。この記念イベントのメイン事業として、令和3年度の「コトニクラシック」に出演いただいた「パシフィック・ミュージック・フェスティバル札幌（PMF）」の修了生等8名に、クラシックからポップスまで幅広い楽曲を演奏いただき、50周年を華やかにお祝いしました。

そして、西区文化フェスタの1公演として「コトニジャズ in トライアングル広場」を3年ぶりに開催しました。1時間のジャズコンサートに JR 琴似駅直結の会場は大いに盛り上がりました。



【西区フェスティバル内コンサート】



【コトニジャズ in トライアングル広場】

③ にしく♪ちびっこミュージックプロムナード(新規)

令和4年10月、白い恋人パークを会場に、0歳から6歳までの未就学のお子さんとその保護者を対象として開催しました。

当日は「パシフィック・ミュージック・フェスティバル札幌（PMF）」の修了生をメインとした3名の演奏者により、子どもたちにもなじみのある童謡やアニメソングを演奏。途中、演奏者から身体を使ったリズムの取り方を伝え、親子一緒になって音楽や演奏を楽しんでいました。

3 市民感覚を大切にされた地域とともに進めるまちづくり

(1) 西区・区制施行 50 周年記念事業の実施

西区が区制 50 周年を迎えることを契機として、区民の方が西区の歴史や地域の魅力を再発見し、西区への愛着を深め、これからも西区に住み続けたいと思うきっかけづくりを進めるため、西区の「歴史」・「魅力」・「未来」をテーマとして、以下の事業をはじめとする様々な記念事業を実施しました。

① 50 周年記念ロゴマークの作成及び活用



西区区制 50 周年を記念し、北海道科学大学の教員、学生によるプロジェクトチームの皆さんに西区の「歴史」・「魅力」・「未来」という西区区制 50 周年のテーマをもとに 7 つの案を制作いただき、投票で決定しました。

区民をはじめ延べ 3,509 名の皆さまに投票いただき決定したのが左のロゴマークです。

発表式は、制作いただいた北海道科学大学で開催し、ロゴマークは区の事業のほか、西区にゆかりのある企業などで活用されました。

② 50 周年記念フォト事業の実施

50 周年記念フォト事業として、3 回目となる「西区 SDGs フォトコンテスト 2022」を開催したほか、西区が誕生してからの風景や街並み、人々の暮らしなどを写した写真を集め、西区の歴史をふりかえり、西区の魅力を再発見する「西区の歴史再発見フォト募集」事業を実施しました。

③ 50 周年記念式典「西区フェスティバル」の開催

西区区制 50 周年を区民の皆さんとお祝いするとともに、西区の魅力を再発見し、これからの 50 年、100 年に向かう第 1 歩とするため、令和 4 年 9 月に「西区区制 50 周年記念 西区フェスティバル」を、札幌市生涯学習総合センターちえりあで開催しました。

定員 440 名に対し 1,200 名を超える応募があり、当日の会場は、西区 50 周年を祝う来場者で埋め尽くされました。

イベントでは、西区福井地区で伝承されている伝統芸能「福井ばやし」がオープニングを飾り、続けて行われた PMF 修了生によるスペシャルコンサートでは、西区や札幌市にゆかりのある曲も披露。途中、西区環境キャラクター「さんかくやまベエ」が登場し、キッズダンサーたちと一緒に踊りを披露して、会場を盛り上げてくれました。

また、西区ゆかりの企業やお店の商品が当たるお楽しみ抽選会も行うなど、来場者

には西区の魅力を改めて感じてもらう内容としました。



【福井ばやし】



【お楽しみ抽選会】

④ 西区区制 50 周年記念動画制作

北海道科学大学と連携し、西区の歴史や豊かな自然など、西区が持つ多彩な魅力を素材にした記念動画を制作。企画・脚本から編集まで、学生が主体となって行い、琴似神社や平和の滝など、西区内にある様々な見どころスポットを舞台にしたショートムービーを制作しました。



【琴似神社】



【動画タイトル】

(2) 企業連携による西区魅力創出プロジェクト

区内にある食産業やものづくり等の魅力を多くの方に知っていただけるよう、企業と連携して地元の子どもや若者などに魅力を体験してもらう企業見学会を実施しました。

	日付	企業	参加者数	内容
1	R4年12月24日	石屋商事(株) (白い恋人パーク)	19名	白い恋人パークで「白い恋人」の製造ラインを見学
2	R5年1月14日		20名	
3	R5年1月11日	石田製本(株)	17名	製本工場で本が出来上がるまでの製造ラインを見学
4	R5年2月4日	(株)協和機械製作所	20名	大型の除雪車など「はたらく車」の製造工場を見学
5	R5年3月28日	札幌酒精(株)	20名	酒造工場の見学と「甘酒作り」を体験

〈数値目標〉 魅力体験の参加者数 80 人 ⇒ 実績 96 人



【白い恋人の製造ラインを見学（白い恋人パーク）】



【本が出来上がるまでを見学（石田製本㈱）】

(3)地域の課題解決をサポート

住民自ら地域の課題を解決する“地域力”の向上を目指し、区内に8か所ある「まちづくりセンター」が住民とともに地域の伝統文化などの魅力や町内会活動をはじめとした担い手不足などの課題を踏まえたさまざまな事業を行いました。

また、持続可能な町内会活動支援の一環として、『伝えたい情報』を『伝えたい人』へより効果的に情報が発信できるよう SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）を利用した情報発信について支援を行いました。

八軒まちづくりセンター

地域の力を結集し支え合うまちづくり ー高齢者の見守り・防犯・防災ー

八軒地区では、八軒連合町内会を中心に、関係団体や事業者などをメンバーとする「八軒まちづくり協議会（八軒サポート隊）」を結成。安全・安心なまちづくり、地域で支え合うまちづくりを進めています。

高齢者の見守り活動を充実させるための「高齢者見守りマップ」の作成会を開催したほか、青色回転灯装着車による防犯パトロールの実施、三角山放送局において地域情報や各団体の活動紹介などの発信を行いました。



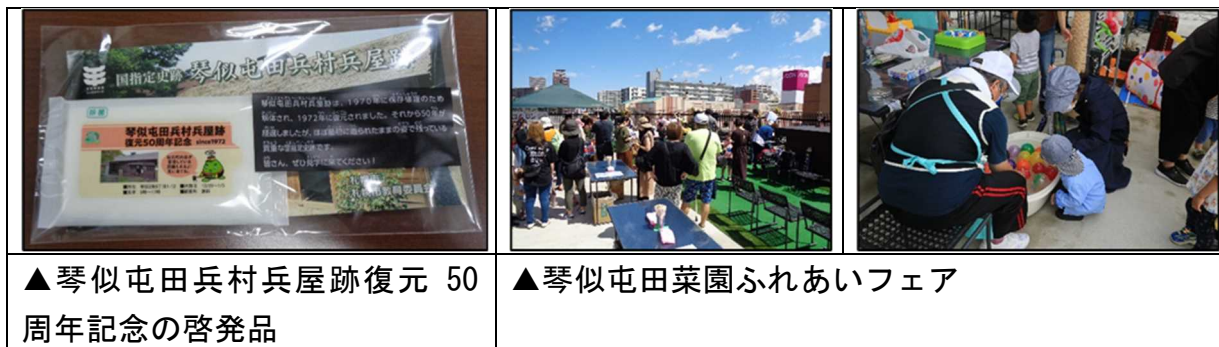
三角山放送局に出演する連町会長(右側)
(毎週水曜日。年間48回実施)

琴似二十四軒まちづくりセンター

琴似屯田兵村兵屋跡復元50周年の周知、琴似屯田菜園ふれあいフェア(8/20~21)

琴似屯田兵村兵屋跡復元50周年記念の啓発品を作成し、琴似小学校と二十四軒小学校に合わせて1,100個配布しました。

また、例年開催の「琴似屯田夏まつり」が中止となったため、琴似屯田兵村兵屋跡復元 50 周年記念と琴似連合町内会が管理する屯田菜園の活動周知を兼ねた「琴似屯田菜園ふれあいフェア」の企画・運営を支援しました。（延べ 700 名以上参加）



▲琴似屯田兵村兵屋跡復元 50 周年記念の啓発品

▲琴似屯田菜園ふれあいフェア

西町まちづくりセンター

「子ども達の夢を応援！！西町・コンサ通りまちづくり事業」

未来を担う子どもたちが地域への愛着をより一層深められるような、活気ある住みよい街を目指した取組を推進しました。

◆北海道コンサドーレ札幌バドミントンチーム選手と児童の交流（令和 4 年 9 月）
（手稲宮丘小 6 年生、西小 6 年生、2 校計約 240 名）



記念品（フラッグ）の交換
（手稲宮丘小）



交流ゲームの様子
（西小）

発寒北まちづくりセンター

地域防災研修企画・実施支援事業

地域の防災力を高めるため、発寒北安心して暮らせるまち協議会（まち協）が中心となって様々な活動団体と協力・連携を図り、子どもも大人も楽しく参加できる研修等を企画・実施しました。



◀防災ワークショップ(7/26)。災害時に起こり得る突発的な出来事について二択クイズ形式で自分なりの決断をし、意見交換を行いました。

発寒北少年消防クラブの中高生もワークショップに参加(12/27)





◀ 発寒小サタデースクールとまち協が協力して、こども防災教室を行いました(1/13)

▶ まち協と発寒北児童会館・発寒小ミニ児童会館と協力して実施したハツキタ防災デイキャンプ(2/26)



西野まちづくりセンター

地域におけるスマートフォン教室の実施

高齢者の孤立防止や町内会等の地域活動の円滑化を下支えするためにスマートフォン教室を開催。令和4年度は、地区会館を会場とする従来型に加えて、改造したワンボックスカーを用いて、より身近な場所で行う移動型も実施しました。

(移動型：11/24、12/6、7、参加25名)

従来型：3/10、27、参加51名)

地域団体間の連携促進と地域のアイデアの具現化支援

民生委員児童委員等の地域福祉活動を紹介する展示と交流・健康づくり活動を併せた「パネル展」や、使用されていない畑を子どもたちの遊び場として開放する「手稲山ろくワイワイちびっこ広場」等、新たな行事を実施。まちづくりセンターは、各団体のアイデアを具体化するための助言や情報提供、関係者・協力団体を結び合わせるコーディネート等の支援を行いました。

(パネル展・カーリンコン体験・やまベェ体操体験

等：5/9～13、参加延べ110人以上

手稲山ろくワイワイちびっこ広場：2/19 参加約60名)



移動型教室の会場となった「スマホなんでもサポート号」



手稲山ろくワイワイちびっこ広場でそり遊びを楽しむ親子

山の手まちづくりセンター

☆三角山で育む“まちづくり心”支援事業

三角山ボランティアが中心となって企画運営する魅力発信・保全・登山マナーの啓発等の活動を通じて、市民が三角山に親しむ事業を支援しました。

三角山健康登山スタンプラリーや三角山ボランティア整備登山のほか山の手地区文化祭での三角山写真展を行いました。

※例年実施しておりました「山の手子供すくすく育み隊三角山登山」「小学校での三角山と人々の歴史総合学習」は新型コロナウイルス感染症の影響により、令和4年度は中止いたしました。

三角山健康登山スタンプラリー

(195名が参加)

山の手のシンボル三角山の魅力にふれながら、健康づくりに参加してほしいと、月に3回山頂下にある四阿内のスタンプを押した方にポストカードを進呈するスタンプラリーを実施しました

三角山 健康登山 スタンプラリー

5月 6月 7月 8月

スタンプラリーの参加方法

1. スタンプを押す
山頂下の四阿内にスタンプのハンコが設置されています。参加者それぞれがスタンプを押す1回につき1枚押し進めます。スタンプを押してOK!

2. ポストカードを進呈する
月に3回のスタンプを押すと、スタンプラリーの参加者全員に、三角山の魅力を伝えるポストカードを進呈します。

三角山 健康登山 スタンプラリー

2022年5月～10月

●このスタンプラリーへの参加は (無料・2歳児・3歳児)

●開催 (夏・秋・冬)

●開催 (土・日・祝日) 10:00～15:00 15:00～19:00 19:00～21:00

●お問い合わせ先 (電話・メール) 011-613-1318

三角山スタンプラリー 2022.07



エンリス 撮影者 F・K

三角山スタンプラリー 2022.05



国仲地のかつじゅんつ 撮影者 M・N



ボランティア整備登山
三角山の自然を守るために、児童会館の子どもたちと、登山道中腹に生えるオオバコの抜き取り作業を実施しました。

発寒まちづくりセンター

地球にやさしいまちづくり推進事業「エコタウンはっさむ」

次代を担う子どもたちと地域（商店街・子ども会・町内会等）が一体となって環境にやさしい取組を行う「エコタウンはっさむ」の活動を継続的に行っています。

公園の落葉を発酵させて堆肥にする「みどりの貯金箱」には、発寒南小の児童が参加し、落葉拾いから堆肥収穫まで一連の作業を体験。春に収穫する堆肥は地域の花壇等で使われます。（収穫1回・落ち葉拾い1回・切り返し作業2～3回/各2ヶ所）

使用済み天ぷら油をリサイクルする活動では、「エコせっけん作り」を商店街のイベントに合わせて3回実施。「エコローソク作り」は発寒児童会館と連携しアイスキャンデル用として700個を制作しました。また、ゾウの生態や直面する課題等から森の大切さを学ぶエコ施設見学（円山動物園バスツアー）を企画、20名の子どもが参加。



みどりの貯金箱の落ち葉拾い



児童会館でエコローソク作り



円山動物園内での講座

八軒中央まちづくりセンター

八軒中央地区マスコットキャラクター活用事業

次代のまちづくりを担う子どもたちに地域への愛着を深めてもらおうと、地元の小学生の応募作品を基にして令和2年度に誕生した、八軒中央地区のマスコットキャラクター「はっけんくん」。

令和4年度は、ポーズのバリエーションを追加し、全25種のイラストデータを地域活動団体に提供。地域のイベントや啓発活動、印刷物などでの活用を推進しました。



桜並木案内看板



アイスキャンドル冬物語



子ども向けイベント

(4) 緑あふれるまちづくり

道路の植樹ます・植樹帯への花植えによる歩道美化を、地域の皆さんと協働で行いました（23路線の56団体へ約13,600株の花苗を配布）。

また、道路景観の向上を目指し、二十四軒手稲通（愛称：ラベンダー通り）のラベンダーによるシンボルロードづくりを地域と協力して進めています。



(5)冬の暮らしに親しむ雪体験授業の実施

将来のまちづくりを担う子どもたちが、冬の暮らしに関心を持ち、札幌の雪対策に対する理解が深まるよう、小学生を対象に札幌市の除雪に関する出前授業や除雪機械試乗体験、砂入りペットボトル製作体験等の雪体験授業を実施しました。

西区内の小学校 20 校のうち、1 校について日程等が合わず、未実施となったことから、19 校での実施となりました。

〈数値目標〉 西区内の全ての小学校 20 校 ⇒ 実績 19 校
 雪体験授業（出前授業） 雪体験授業（体験学習）



(6)区内のまちづくり活動の情報発信

活動の担い手の発掘や参加の促進につなげるため、町内会をはじめとするさまざまなまちづくり活動を、広報さっぽろの表紙（写真 31 枚）、西区ホームページ（73 件）や西区役所 1 階ロビーのデジタルサイネージ（電子看板）で配信している「西区ニュース」（24 件）で広く紹介しました。

また、広報さっぽろに西区で活躍している方などを紹介する企画「今月のやまベエフレンズ」（7 回）を連載しました。



【やまベエフレンズ】



【デジタルサイネージに表示した西区ニュース】

(7)選挙啓発活動の推進

①せんきょ体験授業

選挙の大切さを学び、選挙を身近に感じてもらうため、区内の小学校9校で選挙に関する講義や模擬投票を行う「せんきょ体験授業」を開催しました。

【参加児童数：731名】



【せんきょ体験授業での模擬投票の様子】

②西区明るい選挙啓発書道作品展

政治や選挙への関心を高めてもらうため、区内の小中学校に通う4年生から6年生を対象に書道作品を募集し、応募のあった作品について、イトーヨーカドー琴似店（トライアングル広場）に展示するとともに、入賞作品45点を地下鉄琴似駅構内（西区ギャラリー）に展示しました。

【全応募作品数1,351点】



【作品展（トライアングル広場）の様子】

(8)窓口混雑緩和の取組の実施

春の引っ越しシーズンの混雑が著しい戸籍住民課窓口において、待ち時間を短縮し、混雑緩和を図ることを目的に、西区役所1階ロビーに職員を配置し、受付に必要な書類等について事前案内を行いました。また、届出書類への記入の支援等を行うことで、受付に要する時間を短縮し、スムーズに手続きが済ませられるよう来庁者へのサポートを実施しました。

さらに、西区役所1階第5会議室を用いての臨時待合室の開設による1階ロビーの混雑緩和、3月末から4月初めにかけての平日夜間の窓口時間の延長及び、3月最終土曜日午前と4月第1日曜日午前の区役所開庁による混雑回避の取組を実施しました。

加えて、マイナポイント第2弾がスタートしていることから、マイナンバーカードの申請や受け取り等で窓口が混雑しないよう、申請サポート臨時窓口において申請等の支援を行いました。